

第２学年「体育」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○走る事が好きで、徒競走では、力いっぱい走りきる児童が多い。
○固定遊具を使った運動遊びでは、個人差はあるが、練習するごとに伸びが見られる。
- 課題** ▼運動能力の差が見られる。自分の体をうまくコントロールすることが苦手と感じている児童もいる。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇基本的な運動感覚が身に付けられるようにする。
- ◇様々な運動遊びに、進んで楽しく取り組むことができるようにする。
- ◇きまりを守って、誰とでも仲良く運動したり、考えたことを互いに伝え合ったりして、安全に活動できるようにする。

具体的な改善策

- ３６の基本動作や元気アップガイドブックの内容を効果的に取り入れ、様々な運動遊びを楽しみながら、基本的な動作が身に付けられるようにする。
- どの子も取り組みやすい課題設定を行い、段階に応じて難易度をあげたり、児童の実態に応じて、ゲームのルールを工夫したりする。
- 用具の準備や片付けの仕方、使用方法を適宜確認し、安全に十分配慮した上で、児童が安全意識をもって活動できるようにする。
- チームでの活動を通して、仲良く楽しく協力したり、話し合いをしながら運動を工夫したりすることができるようにする。

達成目標

- 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。
- 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。